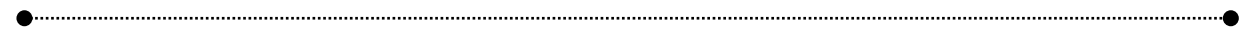


平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	アウトドアで村おこし事業
事業主体 (連絡先)	生坂村観光協会 (役場振興課 0263-69-3112)
事業区分	産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,800,498 円 (うち支援金: 1,193,000 円)



事業内容

1. ラフティングボート・装備品を整備、イベント開催
 - 村内小学生、農業体験ツアーでイベントを開催した。
小中学生 開催日: 8月3日・8月5日・8月7日 計17名
農業体験ツアー 開催日: 8月1日(土) 24名体験
 - やまなみ荘を拠点とするアウトドア体験プランの作成
・ラフティング44名 ・パラグライダー44名
・京ヶ倉トレッキング 38名・食堂等利用 150名 計276名
2. 大城京ヶ倉トレッキングイベント
年5回、「大城京ヶ倉を広く世に出す会」と協働でイベント開催
【春】開催日時: 4月18日・25日・27日 参加人数: 延75名
【秋】開催日時: 11月1日(日) 参加人数: 40名



【 B 】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①ラフティングボート・装備品を整備して、村内の小学生やアウトドアプラン、都会から農業体験に訪れる方を対象に、ラフティング体験イベントを行った。自然の中で遊ぶ楽しさを感じてもらうことができ、村の新たな観光資源となった。
- ②村営宿泊施設をアウトドアの拠点とし、ラフティング、パラグライダー、 canoe、トレッキングの体験プランを作成した。新たな試みで、人数が少ないため、内容の検討をしていきたい。
- ③観光協会、「大城京ヶ倉を広く世に出す会」が共催をして、年2回のトレッキングイベントを、5回に増やした。県内から100名以上の参加者があり、大城・京ヶ倉トレッキングの知名度向上が図られた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

アウトドアというカテゴリーが、誘客につながる観光資源として確認することができた。イベントを増やすことで誘客につながるが、イベントに頼らない方法で呼び込むための観光地づくり、体制づくり、また宣伝をしていく必要がある。今後、マウンテンバイクコースづくりやトレイルラン、ロゲイニングイベントを検討して、アウトドアを活かした村おこしの方法を模索していきたい。

- 【目標・ねらい】
- ①ラフティングイベント
 - ②アウトドアを活かした誘客
 - ③大城京ヶ倉トレッキングツアーの開催

※自己評価 【B】

【理由】
イベント回数を増やすことで、徐々に来村者の数は増加しているが、周遊プラン等の作成で滞在時間が伸びるように検討をしていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある